



第55号

しらさぎ会総会は
5月の第3土曜。
2023年5月20日
今回は

自由で平和な世界を願って

しらさぎ会 第24代会長

吉川 葉子



こんにちは！日頃は本会へのご協力、ご意見、誠にありがとうございます。大学ではコロナ禍でもできることを日々工夫し、頑張っています。

コロナが少し落ち着いたかと思うと今度は何？二十一世紀になつて最も酷い人権侵害。ウクライナへの侵攻は許されることではありません。世界中の人々が悲しい思いをしております。

五月の終わりが迫りました。ロシアの外交官が辞任しました。そし

て、ロシア国内でも公然と戦略を批判する声が出てきました。「ウクライナへの戦略、侵攻がとても恥ずかしい」ということでした。私は胸が熱くなり涙がこみ上げてきました。ロシアでもたくさんの方が自国の戦争に反対して、戦っている人々がいることに感動を覚えました。平穏な世の中になり、自由で平和なウクライナになるよう一日も早い終結を願います。

明日はもつといい日が来るという信念を忘れないよう、そして、希望を持って未来に向かえば必ず自由で平和な社会が開かれる、そんな世界になることを信じています。朝の来ない夜はないのですから！

永国寺キャンパスでは、しらさぎ会の贈った「詩の翼」が時の流れの中で土佐の風を受けて行き来する学生たちの姿を見守っています。

特賞受賞!

第37回高知市都市美デザイン賞

永国寺キャンパスが、高知市が主催する第37回都市美デザイン賞で特賞に選ばれました。特賞が発表されるのは、第16回以来21年ぶりのことです。

永国寺キャンパスは、芝生の広場を取り囲むように教育研究棟、体育館、図書館等を配置しています。敷地を掘で囲まず、中心を芝生の広場にすることで、緑あふれる都市空間を誕生させました。また、高知市が取り組んでいる「お城の見えるまちづくり」の適用区域であり、高知城への眺望等を確保し、格調高い景観色彩を形成しました。

広場には、「しらさぎ会」様から寄贈していただいた「詩の翼(うたのつばさ)」があります。このモニュメントは、世界的に有名な造形作家の新宮普先生に製作していただいたものです。風に吹かれて2枚の翼がゆったりと回るモニュメントは、景観の美しさを、より一層引き立て、キャンパスに集う学生の学びと成長を温かく見守っています。

このように、地域社会との融和を意識した総合的な計画により、魅力的な都市空間を創出している点が高く評価されました。

(事務局次長 竹林貞治郎)



体育館跡に建つ「詩の翼」



永国寺キャンパス西側から東をみる(図書館と教育研究棟)

「詩の翼」
しらさぎ会より贈呈したもので、メンテナンスは県立大学で定期的に行われています。

2022年
(令和4年)
3月

あふち寮50年を経て新改築！

あふち寮には、1人部屋と4人用シェアルームがあり、私は1人部屋で生活しています。1人部屋ではありませんが、寮の共用部分にはコミュニケーションルームがあるので、寮内の友人と交流することができ、暮らしていても楽しいです。さらに、管理人さんがいて、セキュリティがしっかりとしていて、寮内で防災訓練も行うので、1人暮らしが不安な方には持つて来いの環境だと思います。何より、通常の学校生活では知り合うことができなかったであろう学部やキャンパス、年齢の違う友人を作ることができますよ。

(健康栄養学部 4 回生 川上璃花)



あふち寮の新改築をお祝いして、同窓会しらさぎ会より柱時計を贈呈しました。寮生とともに新しい時を刻んでくれることでしょう。

松崎淳子先生「本」を出版しました

このたび「まっことめでたい96歳」—私の昭和・平成・令和の覚え書—の出版は、著者本人にとりましては、感謝そのものでございます。半生が昭和の風景の中に在り、平成、令和と、今を生きる老女の歴史は、愛する日本の“今”を、どう生きるべきかを問うものでもあります。

それと、老女の雑文で課題提起されたDKGをはじめ有識の皆様、そして、運用には、クラウドファンディング、協力金ノートと、大きな役割を果たして頂くなど、素晴らしい展開にも多くの学びを頂きました。この本が今後の社会づくりにお役にたつことあらば幸いです。

2022.5.25 松崎淳子

■連絡先／松崎淳子先生の本を出版する会

会長 北原初枝 〒781-2110 吾川郡いの町 1475-16

090-9458-0309

メール hatsue_kitaha@hotmail.co.jp



ようこそ先輩 後輩の皆さん

岡崎邦子さん(国文学科13回生昭和47年3月卒業) 高知県在住

これからも一生懸命



18歳で高知に来て早50余年。卒業すぐ子育てに入り、その後21年間市内の小学校の児童クラブ支援員として働きました。職場は女ばかり36人。当時

1985年は一律72,000円と12日間の有給休暇だけで支援員丸ごと非正規でした。現在は会計年度任用職員という身分です。組合の委員長をやらせていただきながら10年がかりで報酬を八段階に、各種休暇も皆で交渉を続け勝ち取っていきました。私たちの団結の結果です。そして高知市議会議員への出馬のお話をいただき、舞台をかわして頑張ろうと決心をしました。2011年に90票足らずに落選をしています。現在は三期目です。こうち男女共同参画ポータルで一緒にいる松崎淳子先生に



は、「70代は何でもやれる!」と元気をいただいています。女性を市政へ届け、子どもたちに確かな未来を!をモットーに議会活動はもちろんひきこもりの方や夜間中学、医療的ケア児への支援など一緒に課題を共有し取り組んでいます。又「戦争への道を許さない女たちの会」の仲間と毎月八の日の朝県庁前で平和を守るためにピラを配っています。

今一番思うのは、女性議員を増やしていきたいという事です。70代もしらすぎ会の先輩、後輩の皆さんからパワーをいただきたいしなやかに歩いていきたいと思っています。

小畑千博さん(生活科学科14回生昭和41年3月卒業) 広島県在住

人生は旅・継続は力なり

女子大の生活科を卒業して、三年間中学の教師をしました。結婚と同時に退職し、主人の転勤と共に、東京・北海道・関東など各地で過ごしました。初めての土地で大変なこともありましたが、沢山の新しい出会いや発見は「人生の宝物」になっています。



四十歳を迎え、気軽に海外にも出かけ、いつの間にか訪れた国は四十五ヶ国、「世界遺産巡り」など、テレビや本で得た知識を実際見たり、経験することで、もともともと、好奇心が湧いてきます。これからも体力の続

く限り「旅」したいと思っています。

五十九歳の時、三才上の姉が脳梗塞で倒れ、私の生活は一変。高齢の母と姉の介護のため、主人と共に故郷の尾道へ帰りました。姉は右半身麻痺と失語症が残り、十年前から車いすです。体の不自由よりも言葉が話せず、書けなくて意思疎通が出来ない失語症は本当に大変です。



失語症者の会は、全国規模で組織されており、各県、各地域で活動しています。尾道地区では、月一回、近況報告、懇親会、年一回宿泊旅行、広島カープの応援など、言語聴覚士と理

学療法士の助けによって、患者が前向きに生きる気力を与えてもらっています。

姉を介護して十九年。介護は大変なイメージですが、常に寄り添って、共に生きているというスピリットを心掛けていれば、楽しく、生活できます。

ストレス解消は卓球と箏・三味線です。いずれも続けて四十五年。それなりに上達し、私の生きる自信につながり、生活の活力源です。週2回練習し、たまに試合に出て仲間と触れ合う。箏は「邦遊会」を主宰し、秋のコンサート、施設訪問のボランティアなど、楽しみながら生活しています。

76歳でピアノを再開(65歳の時、3年間習いました) 駅や街角に置いてある誰でも自由に弾けるピアノに挑戦しようと日々練習しています。

もうすぐ八十歳。八十路の坂をしつかりと踏めるよう、健康に留意し、一日一日を大切にプラス志向で、いつまでも挑戦する人生でありたいと願っています。



武富恵莉さん(社会福祉学部14回生 平成27年3月卒業) 福岡県在住

多領域連携を学ぶ日々



現在私は、福岡大学病院に事務職員として勤務しています。

医療現場における福祉職の在り方について考える毎日です。

高知県立大学卒業後、福岡県において高齢者・障がい者福祉事業に従事。その間親族の闘病や勤務先の経営不振を経験しました。卒業すぐに入会したしらすぎ会九州支部の皆様を支えられました。親身に相談に乗っていただき、的確なアドバイスを頂きました。また、看護、栄養、文理教育という専門職の歴史や姿勢に触れ、職業意識の活性化に繋がりました。次第に大学時代の研究テーマである「医療現場におけるサポートネットワーク」を深めたいと感じるようになります。

結果、福岡大学病院の事務職として、医療現場における福祉職の新たな可能性を探る道を選びました。医療安全、感染症対策、薬剤といった領域に関わり活動する中で、高知県立大学やしらすぎ会で学んだことが活かしていると実感する毎日です。

頂いた貴重な経験を、次世代に還元できるよう、これからも努力を重ねていきたいです。

直接、新型コロナウイルス禍に陥り「今、私にできること」はなんだろうと真剣に考えました。



▲福岡大学病院 医療安全・感染制御部スタッフとの集合写真

松浦力ズ子さん(生活理学科6回生 昭和48年3月卒業) 香川県在住

私の半生

昭和48年大学を卒業後、3つの社会福祉現場に勤めました。

旧教護院(児童自立支援施設)に講師として、何の専門知識を

持たないまま、非行歴のある子供達の現場に入りました。子供達からの視線や言葉は厳しく私は声掛けが怖く、緊張の毎日の連続でした。県内の学齢児10数名が収容されていて、当時、日

課は午前は学習、午後は野球練習やびわ畑の農作業の屋外活動を行い、夜間・休日は身辺整理やテレビなど娯楽で過ごす集団生活でした。職員が子供達と寝食を共にする生活で特別な制限はありません。衣・食・住は相応に用意されていました。子供達はなかなか心を開きません。心を通わせる難しさを強く覚えました。しばしば無断外出・喫煙・暴力などの問題行動を起し、その対応に職員達は苦闘していました。職員間で議論を重ねて助け合いながら子供達を理解することに努めました。

後年、非行と虐待との相関関係を理解し、生い立ちにおいてひどい虐待を受けた子供ほど心の傷は深く、容易に他人を信用しません。更生のためには長い温かい支援が必要であることを学びました。施設が子供達にとって安全・安心な場所であることが今も願っています。

また、知的障がい児者施設に20年間勤めました。中でも最重度の男性10数名との関わりが強く印象に残っています。

彼らは20歳代から60歳代の実年齢でしたが、精神発達年齢は1歳半前後程度であり、歩行はできませんが、言葉でのコミュニケーションは難しく、更には自閉症や自傷・他害・異食等の行動障害を重複していました。食事・排泄などで、職員が清潔・安全を意識しないと不潔で安全

を欠いた環境に陥り、彼らの不快感情が薄れます。ウォーキングを毎日実施していましたが、路上の異物を食べる等、突発的行動もあり、交通上の安全の他細心の注意が必要です。それでも、コンビニ買い物やバスドライブ等の社会参加を進め、彼らの笑顔が増えるのを体験しました。危険だからと行動制限することばかりでは情緒の安定や問題行動の軽減には繋がりません。医療との連携も重要でした。彼らは言葉で訴えることができないので、よく観察・理解対応する支援が求められます。日々、試行錯誤の連続だったように思います。

さらに児童相談所に7年間勤めました。児相は18歳未満の子どもの対象で、様々な相談から子どもの最善の利益のため関わっていく行政機関です。ここでは子供の人生の進路を決める重要さをおかみしました。平成10年頃でも、虐待が相談の主流となり、担当地区から相談・通告があれば、いつでも職務を開始します。超多忙で余裕はなく、ケース進行で頭

が一杯で



▲子供たちとのキャンプ



▲障がい者との外出

た。方向性については専門家の助言を受けることも多く、組織の決定により進行します。いつも力不足を感じていましたが、子供を理解するには心理学的な見方が重要であることを学びました。

福祉現場勤務により、平凡な生活では気づくことができない人達に出会い、生きる困難さを背負った彼らに関わることによる、誰もが大切にされ、人によって支えられていることを学び、自分自身の些かな成長に繋がっているのではないかと感謝しています。

現在、母の介護に携わり、障がい者福祉施設で学んだことが老親への向きあい方に役立っています。

平成9年に、母校に社会福祉学科が創設され、後輩の方々が様々な現場で困難に向き合い、努力されていることでしょうか。頑張ってください。

しらさぎ会 ● 各支部だより

山口県支部

「高知を思う」

●山口県支部のみなさま、今年度こそはと支部の集いのことを考えてはいますが、まだまだ感染症について心配な声を聞く6月末、開催を逃しています。いつかご案内を届けることができた時には、お手数ですが返信のおはがき投函していただくとありがたいです。

さて、代議員になって総会に出席すれば高知へ行けるよという先輩の言葉に、初めて出席したのは4年前のことです。せっかく来たのだからと、電車に乗ってバスに乗って歩いて歩いて歩いて、本当によく歩きました。「いつか訪ねてみたい」が実現したので、先輩に感謝したことです。

それから、職場の古いカラオケの映像に、30年くらい

前の高知が映し出されていたのを思い出すことがあります。曲名は「南国土佐を後にして」みんなこの歌をよく知っていて歌っていましたが、私はきっと高知びいきで映像に見入っていたと思います。入学当時に走っていた南風号や高知城、坂本龍馬像にはりまや橋…すべてが懐かしい。しかし、実は本物は見たことがないという人が私の周りには多いのです。そこで、自分の足でしっかり歩けるうちに本物を見てもらえるように、高知への旅をお勧めしています。私を育ててくれた土地へ、ほんのちょっとでも恩返しができればなあと、この頃はこんなことを考えています。

(支部長 ● 道中亜紀 / 国文学科 35 回生)

岡山県支部

『令和4年度

支部総会開催に向けて！』

●支部の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

2019年12月から世界中で猛威をふるったコロナ感染症は今なお終息をみることなく人々は2年半の月日を戦々恐々とした思いで過しております。

しらさぎ会岡山支部では、再結成以来毎年順調に支部総会を開催して参りましたが残念ながら2020年、2021年と開催断念を余儀なくされています。

支部会員の皆様との交流もとだえ、いかがお過ごしのことかと気に病んでいるところでございます。

いまだ感染への危険性が皆無という訳ではありませんが、ワクチン接種が進み治療薬も開発されつつあり、少しずつ元の生活が取りもどせる状況にある様です。

こうしたことから感染対策に留意しながらであれば本年度の支部総会開催は可能ではないかと考えております。

詳しい内容はまだ未定ではありますが日程としては秋を予定しています。ふるって御参加頂き、皆様の元気な御姿を見せて頂ければ幸いです。

(支部長 ● 平岩博子 / 国文学科 21 回生)

愛媛県支部

第54回愛媛支部総会を3年ぶりに開催

●愛媛県内では今年度に入ってもコロナ感染者が激減することはなく、支部総会当日も165人という状況でした。しかし、県内では大きなイベントの開催ニュースも聞かれるようになり、愛媛支部総会(通称：しらさぎ会えひめの集い)を3年ぶりに開催し、13人の参加を頂きました。日時は令和4年6月26日(日)12:00~14:30。会場は「道後温泉 ホテル古湧園 遙」でした。

◎感染対策に配慮した今年の支部総会の特徴

- 1) 2回の休会に起因する英文科の幹事6人の3年間の努力とホテルの感染対策の取り組み。
- 2) “学歌斉唱”ではスマホから高知県立大学学歌の音を流し黙唱。
- 3) 会食・懇談時、食事以外はマスクを使用、近況報告はゆったり実施。二次会は中止。
- 4) 幹事2人から、篠笛で“学歌”“南国土佐を後にして”など4曲を披露。
- 5) 総会時の講師招待と講演会を中止し、代わりに以下を実施。

①資料として「高知県立大学しらさぎ会総会資料(コピー)」、

「2023 CAMPUS GUIDE」、「あふち寮(新学生寮)完成記念のクリアファイル」を配布

②支部長からは総会の報告を、副支部長からは「旧あふち寮」で過ごした思い出を報告。

◎最後に：参加者の高齢化と固定化傾向がみられ、支部総会の開催工夫が必要になってきています。会員同士で誘い合って多くの参加を頂けると良いのですが、むづかしい問題になっています。

(支部長 ● 伊賀上睦見 / 衛生看護学科 16 回生)



高知県支部

高知県支部「コロナに負けるな！ 学生支援プロジェクト」報告

●高知県支部は 2021 年 12 月 7 日（火）に池キャンパス・永国寺キャンパスで、コロナ禍で困っている県立大生への物資支援活動に取り組みました。

「どんな物を揃えたらいい?」「私達の予算でどのくらいの量が買える?」など、手探り状態で進めたプロジェクト。

支援品は缶詰・レトルト食品・ラーメンやスパゲティ・米・みかん、日用品（ティッシュペーパー・トイレトペーパー・台所用洗剤・洗剤等）など。会員からTシャツ・マスク・タオル・食器などの寄付もありました。両会場とも大小の段ボール 30 箱以上になり、大学側の協力も得て会場づくりはスムーズに進みました。気がかりは肝心の学生が来てくれるかどうかでしたが、開始前から長蛇の列！会場内は学生たちで大賑わい！

どの学生からも笑顔で感謝の言葉をいただきました。たくさんのアンケートの回答が寄せられたので、その一部を紹介します。

- ・食料や生活必需品は生きていく中でどうしても必要になるものなので、支援していただいととても嬉しいです。
- ・コロナ禍でバイトに思うように入れず、食費や生活費を

削って過ごしていたのですごく助かりました。

- ・アルバイトができないことや、食品の値上げにより、あまり買い物ができていなかったため、とても有難かったです。
- ・食料支援とても嬉しいです。でも、それ以上に皆さんからの声かけがうれしかったです。
- ・素敵な活動をしていて、心まであったかい気分になりました。

私たちの活動が物資支援だけにとどまらず、精神的な支援にも繋がったことがわかる声も寄せられ、「本当にやって良かった!」と思えました。

昼休み中ということもあり、列は途切れることなく 100 人以上の学生が集まって来て、あれほどあった支援物資は瞬間に無くなり、1 時間足らずで終了しました。準備から片付けまでずっと大学職員の方々が手伝ってくれてスムーズに活動することができ、感謝しています。片付け後、大学側からもお礼の言葉をいただき、今回の取り組みは大学全体に喜んでいただけたと感ずることができました

(中央地区世話人 ●折田正子/国文学科 20 回生)



関東支部

今回の支部報告は都合によりお休みします

(支部長 ●岡谷恵子/衛生看護学科 19 回生)

香川県支部

支部活動に新しい風を



●令和3年度の支部総会は新型コロナウイルスの感染拡大のため開催することができなかった。コロナ禍の中、支部活動をいかに運営したらよいか模索してきた。

令和2年1月の役員会で、連絡しやすく、かつ、共通理解を図るためにラインを開設したらどうかと建設的な意見が出た。早速、現役の役員(久本昌美 会計長:家政18回生)が開設してくれた。それを利用して役員会の案内や相談事項、日常のできごと(恩師からのお便り、動画など)を発信したり、メッセージを受け取ったりした。そのつながりを通して、役員相互がさらに親しくなり、役員会の動きを早く知ることもできて次の総会や役員会への取り組みに生かされていると感じた。

現在、香川支部の役員は9名。退職者5名と現役4名で

構成している。支部活動の活性化に若い仲間の存在は大きい。例えば、令和元年に実施した「大学見学ツアー」は会員へのアンケート調査の結果を受けて挙行した。

計画→実践→まとめの一連の流れに沿って、「見学ツアーの下見」→「見学ツアー」→「かわら版による報告」など、現役の創意工夫により、感動的な経験をすることができた。

令和5年度は支部総会開催の年。過去のアンケート調査の結果を考慮して総会の時期、場所、内容を検討し有意義な時間にしたい。友人、知人をお誘い合わせの上参加され交流を深めて頂き、支部の発展につながることを願っている。

(支部長 ● 嶋村洋子 / 家政学科1回生)

九州支部の支部会は難しいかも

九州支部

●九州支部の皆さんお元気ですか。

前回、令和1年11月に福岡県の久留米市でしらすぎ会の吉川会長をお迎えして支部会を開催しましたが、その後コロナが蔓延し殆どの会合ができなくなってしまいました。

次は熊本が担当することにしておりますが、まだまだ終息する兆しはみえていません。熊本県では令和4年6月18日現在で1日に472人の感染があり先週より4割も増えています。クラスターも老人の介護施設で2件発生しています。県内で10万4,893人になります。福岡県43万9,351人、沖縄県で23万7,855人で毎日増え続けています。特に九州支部は県をまたいでの会合になりますので参加する方も尻込みされるかもしれません。

もう少し落ち着いてから県内の会員36人の方にもご相談して準備にかかろうと思います。

皆様からのご意見、ご希望などのご連絡は支部長の宮川(090-1519-0393)まで

(支部長 ● 宮川麗子 / 衛生看護学科14回生)



▲久留米で開催した令和1年11月の九州支部会の様子

徳島県支部

徳島支部からのご報告

●しらすぎ会徳島支部の皆様、ご無沙汰しております。支部総会が開催できないまま、3年目を迎えています。いかがお過ごでしょうか。ご挨拶に先立って、お詫びしたいことがございます。前回の54号広報で、徳島支部のご報告において写真の誤りがございました。「ようこそ先輩後輩の皆さん」のコーナーで原稿をご執筆いただきました鈴田善美様のお写真が、支部長報告のほうに掲載されておりました。鈴田様を御存じの方はお気づきになられたと思いますが、この場をお借りして訂正させていただきます。事務局のほうで改訂版として2021年10月14日にホームページにアップされておりますので、鈴田様のご活躍のお写真をご確認ください。

さて、新型コロナウイルスによる感染症が蔓延し、令

和2年度に開催予定の支部総会を延期したままになっております。一日も早く開催したいところですが、今年度も延期したいと思います。ご了承のほどお願いいたします。

今年の3月には、徳島支部で永年役員を務めてくださいました岸田佐智様が徳島大学を定年退職され、郷里の高知に戻られました。岸田様への感謝の気持ちを込めて、会員の皆様にご報告させていただきます。

支部総会が、安心して開催でき、皆様と再会できることを楽しみにしています。次回の支部総会には、是非、ご参加いただき、交流を深めましょう。

(支部長 ● 多田敏子 / 衛生看護学科19回生)

京阪神支部

念願の同窓会、開催します!!

●京阪神支部の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか？
まず、皆様にお詫び申し上げます。同窓会が開催できずに申し訳ありませんでした。振り返ってみますと、総会を開催予定していた昨年11月上旬は新型コロナも落ち着いていたので、今年5月しらさぎ会総会で開催された各支部の報告を聞いた時には、心が痛みました。

今年は、3度目の正直です。リベンジします。役員一同、強い気持ちで開催に向け準備をすすめております。会場のホテルとも相談の上、感染対策を徹底しながら、楽しいひとときになりますよう努めますので、皆様、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

内容は、当初の計画通り、南裕子先生（神戸市看護大学学長）をお招きし、さまざまな思い出話をお伺いします。また、私の友人の大塚幸子さんグループが“笑いヨガ”を体験させていただきます（もちろん、感染対策した上で）。笑顔があふれる会にしたいと思っておりますので、どうぞお楽しみに！

支部総会日時：令和4年11月3日（祝、木曜日）

11：30～15：00 予定

場所：ホテルグランヴィア大阪 20階 鳳凰

大阪市北区梅田3-1-1 06-6345-2581（大阪駅直結）

（支部長●上林孝子／衛生看護学科26回生）

東海支部

今を楽しもう! 

●さて、令和も4年を迎えました。皆さんは毎日をどのようにお過ごしでしょうか。

コロナが始まって以来、毎日の生活は大きく変わりました。病院に行くことや買い物に行くことはばかられるようでした。まして遊びなどもってのほか。

私たちの東海支部は現在にも活動していません。時間だけが静かに過ぎていき、その中で自分の人生は刻一刻と削られていきます。再開した時、どれぐらいの仲間が集まってくれるのか心配です。

よく若い頃はよかったといえます。体力も気力も充実

していたのだから当たり前です。でも、本当は今が一番よいと思うべきです。私は配信サービスを多用し、昔のドラマから最近のものまで観ています。子育てのころ観ることのなかったものに今出会っています。何だか幸せです。音楽も然りです。昔レコードで聴いた曲をワイヤレスイヤホンで聴きながら家事をしています。これまた幸せです。

タブレット一つあれば楽しいです。再会した時のために「今をどう楽しく生きるか」です。

（支部長●山本眞理子／国文学科16回生）

広島県支部

第17回広島支部会のご報告

●広島県支部同窓会活動についてご報告します。令和3年度は支部会開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染の状況が落ち着かず、開催を断念しました。令和4年度は、感染拡大が落ち着きつつあると判断し、開催することといたしました。

10月16日(土)10：00～15：00に「福山城築城400年 福山城周辺街巡り」を行います。福山城は1622年、西国大名（毛利、黒田、島津など）を監視する役割を果たすため、徳川家康のいところである水野勝成が築城しました。1945年の空襲によって天守は焼失しましたが、1966年に寄付により再建されました。2022年、築城400年記念として全国唯一といわれる砲撃に備えた「天守鉄板張」を復元させています。また、本丸の正門である筋鉄を施した「筋鉄御門」や、芦田川の氾濫から城を守るために整備された貯水池「蓮池」などなど見どころが多くあります。

福山城の歴史に詳しいボランティアの方にガイドをお願いしているため、より楽しく福山城・城周辺の街巡り

ができると思います。なお、福山城は福山駅の目の前にあり交通至便な立地です。9月にご案内の葉書を郵送いたします。ぜひお誘いのうえご参加ください。

（幹事●永井庸央／看護学研究科10回生）



令和4年度 総会報告

日時：令和4年5月21日(土)
場所：高知共済会館

コロナ禍で県外代議員はウェブ総会参加となった。

参加：代議員28名・委任状0名・理事13名・幹事2名

○学歌斉唱○野嶋名誉会長挨拶

○会長挨拶○来賓紹介○議長選出の後、議事に沿って進行

令和3年度事業報告

(1)会議について

①令和3年5月15日コロナ禍で県外代議員はウェブ会議とした。

②理事会は計6回開催

(2)支部活動

●11支部中支部総会開催は1支部、6支部は予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大で中止となった。

●令和3年度は、11支部35都府県8,459名の会員がおり、支部のない道県は12。

●令和4年3月31日現在、会員数13,773名

(3)広報活動

①会報「しらすぎ第54号」発行
会報の中の「会員連絡先」欄へ住所変更QRコードを掲載し

た

②高知県立大学同窓会しらすぎ会ホームページの更新

(4)学生支援

①国際交流支援は20万円予算計上したがコロナ禍において未実施

②奨学金貸与50万円2名を予算化した希望者なし

③令和3年度 特別学生活動支援金給付 10万円を13名、5万円を1名に其々給付

④卒業式・修了式・お祝いメッセージと印鑑ケースを贈呈(卒業生数387名)

⑤入学式・お祝いメッセージと校章を贈呈(入学生数391名)

⑥新築された「あふち寮」へ掛時計を寄贈

⑦日本災害看護学会へ10万円寄付

(5)その他

総会での審議の中で

○支部のない会員も含めると9,153名だが、新入会員を含む数が13,773名となっており4,000名近くの差があることについては幽霊会員と認識してもよいかとの確認

があった。所在の分からない会員もあり、確実に把握している数のみ掲載しているもので大きな差があると回答した。

○令和3年度は奨学金の利用実績はなかったが、令和4年度は利用者がありそうか。利用はどうやって決まるのか。利子はいくつか。奨学金の希望がない場合の対策について知りたいといった質問があった。

奨学金の利用については、大学側が動いて学生を募つてくれている、コロナ禍という状況もあり希望者がいるのではないか、利息は付かないと回答した。

○大学の同窓会なので、会員の動向が大事かと思う。3年度3支部が会員数減との報告があるが、何か理由があるのかという質問があった。

理事会でも所在不明者について昨年度から協議しているが、個人情報の観点から調査は難しく、ホームページでも呼びかけているが難しい状況である。各県の差については各支部まで聞き合わせていないため確認すると回答した。

○オンラインの予算があるが、来年度もその予定か、との質問があった。また、昨年度の総会ではオンラインで各支部の参

加者の顔が見えていたが、今回は見えていない。また、議決の状況もわからない。総会の意味、他支部との交流という点においてできるだけ集まるという方向で検討してほしい、との意見があった。

コロナ禍によりオンラインということも想定されるので予算を計上しているが、県外支部と顔を合わせて実施したいとは思っていると回答した。また、参加者の顔や議決状況が画面上で確認出来ないことについては、昨年度と比べ、場所の違いや機材の調達状況が理由と謝罪した。

○会則の理事範囲について確認があった。また、業務担当理事、一般理事の人数等の内訳は規定に記載した方がいいのではないかと意見があった。今後の理事会で検討すると回答した。

○卒業生の把握について、大学は認証評価で卒業生との連携が問われるため、しらすぎ会の名簿をもとに卒業生にアンケート調査等を行っている。卒業生の動向を把握する難しさ、また個人情報の問題もあり、しらすぎ会は尽力してくれていることを心から感謝しているという意見があった。

最後に、総会におきまして機器の不具合等でご迷惑をおかけ致しましたことをおわび申し上げます。

しらすぎ会連絡先

- 事務局 (Fax・mailは常時)
☎ Fax 088 (872) 0580
mail : sirasagi@cc.u-kochi.ac.jp
- <https://www.u-kochi.ac.jp/~sirasagi/>
- 事務局員勤務 木&金 9時30分～16時00分
- 支部掲示板があります。ホームページをご覧ください。

- 住所変更等、お知らせください！
住所不明者が多くなっています。
※同窓会費は終身会費として入学時に納入されています。
会報が届かないのは現住所不明等のためです。



住所変更のQRコード

令和3年度決算報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

○一般会計・収入の部 (円)				
項目	2021年度予算	2021年度決算	増減	備考
繰越金	4,242,013	4,242,013		令和2年度繰越金
会費	5,970,000	5,608,350	△361,650	15,000円×356名+18名-振込手数料1,650円
利息	—	44		奨学金返済金口座も含む
奨学金返済金	320,000	535,001		返還者7名
寄付金	0	1,244		
その他	0	0		
合計	10,532,013	10,386,652	△145,361	

○一般会計・支出の部 (円)						
項目	2021年度予算	2021年度決算	増減	備考		
事業費	総会	会議費	450,000	433,480	16,520	Zoom会議開催に向けての備品代等・支部総会補助金20,000円(オンライン諸費用)
		交通費等	50,000	18,171	31,829	代議員交通費等
	支部支援	総会補助	1,300,000	693,470	606,530	総会開催補助金(往復ハガキ代+5,000円)等
		学生活動支援	200,000	0	200,000	国際交流支援等
	学生支援	特例学生活動支援	2,000,000	1,350,000	650,000	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学生活動停滞を防ぐ支援等
		奨学金	1,000,000	0	1,000,000	500,000円×2名
		入学祝	150,000	203,500	△53,500	記念品 校章420個、金型代、包装代
		卒業祝	300,000	211,200	88,800	記念品 印鑑ケース320個
	広報	会報作成	500,000	324,500	175,500	会報第54号11,500部作成費
		会報発送	850,000	777,300	72,700	会報発送費等
理事会		35,000	21,394	13,606	施設使用料等	
事務管理費	交通費等	200,000	141,638	58,362	理事、幹事、推薦委員、編集小委員会委員交通費等	
	小計	7,035,000	4,174,653	2,860,347		
事務管理費	事務費	100,000	64,514	35,486	事務用品及び備品、封筒、ホームページ保守管理費等	
	賃金	750,000	677,000	73,000	事務局員1名	
	その他通信費	150,000	94,607	55,393	ホームページに関わる諸費用、電話、切手、振込手数料等	
小計	1,000,000	836,121	163,879			
予備費	2,497,013	220,751	2,276,262	災害看護学会寄付・あふち寮落成記念品		
合計	10,532,013	5,231,525	5,300,488			

次期繰越金 10,386,652 - 5,231,525 = 5,155,127

○しらさぎ会基金 (円)				
項目	基金総額	2021年度決算	増減	備考
基金	36,137,117	36,137,117	0	
利息	—	12,638	12,638	定期預金利息等
合計	36,137,117	36,149,755	12,638	

監査報告
領収書、出納簿、預金通帳等監査した結果、財務が適正に処理され、誤りなどの問題がないことを認めます。

2022年9月2日
会計監査
岡本真知子
柴田真弓

令和4年度予算 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

○一般会計・収入の部 (円)		
項目	予算	備考
繰越金	5,155,127	令和3年度繰越金
会費	5,864,120	(15,000円×391名-880円) R4年度入学人数学部363名、院生28名
利息	—	奨学金返済金口座も含む
奨学金返済金	480,000	返還者8名
寄付金	0	
その他	0	
合計	11,499,247	

○一般会計・支出の部 (円)				
項目	予算	備考		
事業費	総会	会議費	450,000	Zoom会議開催に向けての備品代等・支部補助金20,000円(オンライン諸費用)
		交通費等	50,000	代議員交通費等
支部支援	総会補助	総会補助	1,300,000	総会開催補助金(往復ハガキ代+5,000円)等
		学生活動支援	200,000	国際交流支援等
学生支援	特例学生活動支援	特例学生活動支援	2,000,000	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学生活動停滞を防ぐ支援等
		奨学金	1,000,000	500,000×2名
		入学祝	220,000	記念品 校章420個
		卒業祝	700,000	記念品 名刺入れ420個 1,600円×420=672,000円
広報	会報作成	会報作成	500,000	会報55号11,500部作成費
		会報発送	850,000	会報発送費等
		理事会	35,000	施設使用料等
事務管理費	交通費等	交通費等	200,000	理事、監事、推薦委員、編集小委員会委員交通費等
		小計	7,505,000	
事務管理費	事務費	事務費	100,000	事務用品及び備品、封筒、ホームページ保守管理費等
		賃金	750,000	事務局員1名
		その他通信費	150,000	ホームページに関わる諸費用、電話、切手、振込手数料等
小計	1,000,000			
予備費	2,994,247			
合計	11,499,247			

○しらさぎ会基金 (円)		
項目	基金総額	備考
基金	36,149,755	
利息	—	
合計	36,149,755	

令和4年度 事業計画 (総会承認)

- 1) 広報
 - ①会報「しらさぎ第55号」発行
 - ②高知県立大学同窓会しらさぎ会 ホームページの更新
- 2) 支部活動支援
 - 通信・活動費の補助 ○令和4年度各支部総会の開催
- 3) 学生支援
 - 奨学金50万円を2名に貸与 ○特例学生活動支援
 - 入学・卒業時のお祝いメッセージ・記念品贈呈
 - 学生活動支援・国際交流等への支援
- 4) 大学との交流会
- 5) その他

人事消息 (敬称略)

- 退職 (令和3年度)
 - 看護学部教授 時長美希
 - 同教授 森本悦子
 - 同講師 井上正隆
 - 同助教 瀧上めぐみ
 - 社会福祉学部教授 丸山裕子
 - 同准教授 三好弥生
 - 同助教 雑賀正彦
 - 健康栄養学部教授 稲井玲子
- 採用教員 (令和4年・4・1)
 - 看護学部助教 池内有香
 - 看護学部助教 中井香
 - 同助教 横川奈知
 - 同助教 笠原賀子
 - 同特任助手 健康栄養学部特任教授 地域教育研究センター講師 秋谷公博

学生の皆さんの活動・思いなど

日本語検定で文化学部、連続表彰！

文化学部は、敬語や文法など日本語の総合的な運用能力を測る「日本語検定」において令和3年度に成績優秀校として「日本商工会議所会頭賞」を2回連続で受賞しました。これは、入学当初から「1・2回生のうちに2級合格！」を合言葉に、本学の学習支援システム（モデル）を通じての検定情報や設問別攻略法の提供、学習法の指導、それに応えた学生（延べ142人）の努力の成果と考えています。新型コロナ禍に負けず、「2級合格を目標に計画的に学習を進めた」「苦手な敬語領域の問題集に取り組んだ」「先輩の合格体験記を読んでヒントを得た」といった受験学生の声を励みに今後も学習支援の工夫と努力を続けたいと思います。

検定試験委員会委員長 井上次夫

令和3年度「日本語検定」文化学部の合格率

	2級	3級
第1回（6月）	26.3% (16.0%)	88.9% (64.6%)
第2回（11月）	42.9% (27.3%)	83.3% (50.6%)

※（ ）内は全国の大学・高専の合格率



▲日本商工会議所会頭賞

高知家地方創生アイデアコンテスト 2021 に参加して



今回、大賞をいただいたアイデア「空き家の影絵アートイベント」は、夜、空き家率の高い地域を歩いた際に、暗く・寂しく感じ、「空き家に灯りがあればいいな」と思ったことから生まれました。また、ただ灯りを

灯すだけでなく、影絵にすることで「作る楽しさ」、「見る面白さ」も加え、地域内外から人を呼び込むことができれば、町が本当の意味で明るくなるのではないかと考えました。

この研究を通して私たちは「実際に足を運ぶこと」の大切さを学びました。地域の方や行政の方に実際にお話を伺ったり、地域を訪問したりしたことで地域への理解が深まり、一層深い議論を行うことができたからです。これらの経験は、現在取り組んでいる卒業研究にも活かされていると感じています。

文化学部4回生 中内優加里





一人暮らしの学生にとって、食材支援はとても助かっています。授業が終わった後に行くともう無かったりするので、1人分に分けてあるともらえる人も増えると思います。

▶ 匿名希望

看護学部は実習がありアルバイトができなくなるので、金銭面での支援を充実していただけると助かります。

▶ 匿名希望



2回生でコロナが流行し、アルバイトや勉強ですごく制限を感じました。県立大は1人暮らしの学生が多いため、限られたお金や帰省回数といった中でもっと楽しくすごせたらいいと思います。

▶ 4回生 健康栄養学部

コロナ禍での学生のつぶやき 《2022》



一人暮らしにとって食料支援を行ってくださるのは、非常に助かっています。しかし、社会福祉棟のため、着いた時にはほとんど残っていないことが多いのが残念です。

▶ 1回生 健康栄養学部 OC



暑いので、水分補給のためにお茶か水が無料で飲めるサーバーのようなものがあればいいと思います。

▶ 1回生 看護学部

コロナ禍においての食材支援大変助かっています。

早く皆で集まり楽しい時間が過ごせるようになってほしいです。

▶ 4回生 社会福祉学部



令和4年度 各支部会員数(4年3月卒業生を含みます) (人)

関東支部 (東京、神奈川、埼玉、千葉、茨木、栃木、群馬、山梨)	480	(うち新加入11)
東海支部 (愛知、岐阜、長野、三重、静岡、新潟)	338	(うち新19)
京阪神支部 (大阪、京都、奈良、和歌山、兵庫、滋賀)	1,015	(うち新43)
岡山県支部	324	(うち新18)
広島県支部	276	(うち新12)
山口県支部	72	(うち新1)
香川県支部	502	(うち新19)
愛媛県支部	641	(うち新27)
徳島県支部	660	(うち新20)
高知県支部	3,915	(うち新159)
九州支部 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)	602	(うち新20)
以上、11支部35都府県に居住の卒業生	8,825	(うち新加入349)
支部の無い県に居住(支部に属さない)卒業生	425	(うち新加入21)
国外在住者	53	
物故者	314	
大学院生の内、学部卒業生	163	
居住地不明者、その他	3,993	

令和4年4月末現在の卒業生の総数は13,773人

令和4年度 しらさぎ会の運営体制

名誉会長 野嶋佐由美 (学長)

顧問 五百蔵高浩 (副学長)、中野綾美 (副学長)

【理事会】会長 吉川葉子

副会長 佐田久美子、森利美

理事 稲垣佳代、小松和加子、塩見理香、千光士教子、廣内智子、藤川美和、本間ともみ、前田真衣、村上和子、吉田久恵、渡邊ゆかり

監事 岡本真知子、柴田真弓

【会報編集委員会】

広報担当理事 本間ともみ、渡邊ゆかり

会報編集小委員会 仁尾郁、小松美鶴、中山恭子、水田佐智子、森和美

編集後記

「しらさぎ 55号」をお届けします。

今年もコロナ禍に猛暑、水害など気の抜けない日々が続きます。そんな時にこの「しらさぎ」で全国や学内の会員の皆様がホッと一息ついていただけたら幸いです。

(会報編集委員会)